

公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

平成24年度事業報告書

(平成24年3月1日～12月31日)

本年度計画した事業の概要は、次のとおりである。

1. 結核予防関係婦人団体幹部研修会の開催

地区別結核予防婦人団体幹部研修会を、開催地区結核予防会各支部と地元婦人会との共催のもとで開催した。

結核予防を中心とした公衆衛生知識の向上と、各参加団体会員相互の交流を目的として実施した。

地区別結核予防婦人団体幹部研修会（5地区）

イ. 北海道地区	（北海道）	7月6日～7日
ロ. 東北地区	（青森県）	11月8日～9日
ハ. 東海北陸地区	（福井県）	11月20日～21日
ニ. 近畿地区	（滋賀県）	9月5日～6日
ホ. 九州地区	（大分県）	10月15日～16日

2. 結核予防週間の共催

厚生労働省、都道府県、政令市、特別区、結核予防会、日本医師会、健康・体力づくり事業財団並びに本協議会共催で、平成24年9月24日～30日に実施した。本週間中には、各地域において全国一斉複十字シール運動キャンペーンをはじめとする各種の行事を行うとともに、結核予防への関心を高めた。

3. 教育広報誌「健康の輪」の発行

結核及び公衆衛生全般の知識の向上と会員相互の連携を深める目的で発行しているものであるが、平成24年度も、例年通り3月、7月、11月にそれぞれNo.104、No.105、No.106を発行配布した。 A4版 10頁 年3回1回につき 33,000部発行

4. 複十字シール運動の後援、実施

結核予防会主催、厚生労働省・文部科学省及び本協議会后援により実施されている本運動に参加し、結核予防の教育広報並びに資金造成に努めた。

具体的には、以下の2事業を実施した。

(1) 複十字シール運動開始日（8月1日）を中心として、結核予防会本部役員と本協議会会長が厚生労働大臣を、結核予防会各都道府県支部幹部職員と本協議会各都道府県の会長が各知事を訪問し、「大会宣言」を説明に加え、全国及び地域の結核の現状を報告することにより、複十字シール募金運動の意義を理解していただき、各自治体から結核予防思想について広く一般に伝え、一層の普及を図っていただくよう依頼した。

(2) 結核予防週間の初日（平成24年9月24日）を中心として全国一斉複十字シール運動キャンペーンを、結核予防会各都道府県支部との協力の下に実施し、本

運動及び結核予防の普及啓発を図る。

5. 普及広報資材の製作

全国一斉複十字シール運動キャンペーン用資材として、ミニクリアファイルを製作した。

6. 国際協力

結核予防会が行っている国際協力事業を進めるにあたっては、複十字シール募金を通じて資金造成に協力する。その一環としての結核対策スタディツアーへの会員の参加を推薦する。

また、結核予防会国際部が行う教育資材等に対しての、資金援助を行う。

期 日 平成24年11月下旬 7泊8日

訪問地 未定

参加者 募集10名

現地(カ
ボニア)
と日程
調整つ
かず
中止

7. ストップ結核パートナーシップ日本への参画

国内の結核対策を充実させ、結核低まん延国化を図る。またこれまでの知見を生かして結核が多い地域への支援を充実させる。このため、行政機関、研究機関、市民社会、民間企業などの多様なセクターで構成された連合体を組織し、加盟団体は協調して政治的支援、住民参加を得て日本と世界の結核対策を推進させた。

理事会(毎月)に出席した。総会に出席した。

8. 生活習慣病対策の後援

これまでの僻地・離島を含めた全国津々浦々で結核健診と保健指導を一体として行ってきた経験と実績をこれからの生活習慣病対策に活かすべく、健診と保健指導を中心とする JATA 健康ネットワーク事業を予防会本部支部が組織を挙げて推進している。

今日的国民病となった生活習慣病対策に取り組む結核予防会を支援し、生活習慣病対策を国民運動に高めた。

9. COPD対策事業への取組

COPD(慢性閉塞性肺疾患)の早期発見と早期治療のための普及啓発を行っている結核予防会と協力し、COPD(慢性閉塞性肺疾患)に関する知識を深め国民の認識と理解を高めるために、地域住民をはじめとする社会への積極的な働きかけをした。

10. 女性の健康週間の協力

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会主唱の「女性の健康週間」に本協議会は協力関係団体として取り組む。3月1日～8日(ただし、地域の実情による期間延長等の変更は差し支えない)の本週間中には、子宮がん・乳がん健診等の受診率アップや、女性を取り巻く健康課題に対する社会的関心の喚起を図るため、行政が行う各種の啓発事業及び行事等に積極的に協力した。

11. 心の絆プロジェクトの共催

ヒューマン・ケア心の絆プロジェクト、一般社団法人心の絆プロジェクト(申請中)が主催する心の絆プロジェクトに本協議会は共催し、結核予防会と共に健康チェックのひとつとして肺年齢測定体験会を実施した。

それにより、COPD(慢性閉塞性肺疾患)の理解を呼びかけ、多くの市民に生活習慣病の予防についてのメッセージを発信できた。

具体的には、以下の3県で実施した。

- イ. 9月23日（日） 岩手県宮古市
- ロ. 9月30日（日） 福島県郡山市
- ハ. 10月6日（土） 宮城県気仙沼市

12. 健康日本21推進全国連絡協議会への協力

すこやか生活習慣国民運動実行委員会の加入団体として、医療、保健、栄養（食生活）、運動、禁煙の各専門分野（分科会）からの情報を共有し、事業展開に協力した。

なお、10月に東京大学伊藤射恩ホール（東京都文京区）にて「第13回健康日本21全国大会」に結核予防会と共に積極的に参加し、肺年齢測定ブース出展。「肺年齢体験会」を実施し、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の知識を高め、生活習慣病予防の普及啓発活動を引き続き行った。

13. 会議の開催

臨時理事会

- 期日 平成24年4月13日（金）
- 場所 結核予防会5階 大会議室
- 議案 平成24年度収支決算（1月～2月分のかち決算）報告
臨時総会の書面審議について
（書面審議による開催とし、承認をいただいた）
公益認定経過報告を行った。

臨時総会

- 期日 平成24年5月2日（水）
- 議案 平成24年度収支決算（1月～2月分のかち決算）報告
（書面審議による開催とし、承認をいただいた）

第2回

- 期日 平成24年12月14日（金）13:00～15:00
- 場所 結核予防会5階 大会議室
- 議案 平成25年度事業計画（案）について
平成25年度収支予算（案）について
一部役員を選任について
業務執行理事からの報告を行った。

14. その他

東日本大震災による被災地域に対する肌着の配布をした。

大阪府エイフボランティアネットワークの申し出により、社会福祉協議会から女性用肌着の寄附をいただき、宮城県、岩手県に配布を行った。